

【今月の PICK UP】

2022年スタッフおすすめ ドレープカーテン

イギリスに拠点を構えるサンダーソングループの所有する貴重なデザインアーカイブより、日本のインテリアに合わせてアレンジされたブランドシリーズ EDA ブランドの『ハサウェイ』という名前のテキスタイルです。チューダー朝時代に貴族から愛された、ダマスクパターンをプリントで表現しています。

サンゲツ SC8158・LP仕様 1.5倍ヒダ
W 200 cm × H 200 cm
参考価格 ¥24,100(税込)



SNSでも話題のディスプレイ ハンギングバー

インテリア SNS 写真で今話題になっているディスプレイスタイル。床ではなく天井から吊るすスタイルを実現できるのがトソーの『ハンギングバー H-1』です。写真のように植物を吊るしたり、または洗濯物を室内で干したい場合に掛けたできるのは便利です。取付する場所に合わせてサイズをお選びください。カラーはブラックとホワイトの2色です。

トソー ハンギングバー H-1 / 天井付 Cタイプ
W 140 cm × H 15 cm
参考価格 ¥17,000(税込)



オーダーカーテンならではの カラーコンビネーション

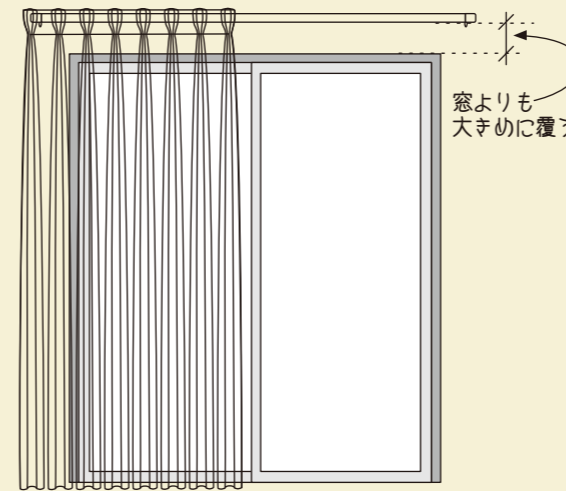
オーダーカーテンはもっと自由にの楽しめます。たとえばこちらの写真のように同じ生地の色違い 8色で切り替えをしたスタイリング。日本では、まだまだカーテンを自由に組み合わせしたウィンドトリートメントは多くありません。ヴェスタ・ショップにはオリジナル縫製スタイルの展示もごさいます。お好きな生地でお部屋のインテリアに合わせて、世界にひとつだけのオリジナルなカーテンを作ってみませんか？



窓装飾で寒さ対策

室内で暖まった空気の 48%は窓からも逃げてしまうことをご存じでしたか？冬の寒さ対策には窓からの冷気侵入を防ぎ、室内の暖気を外へ逃がさないようにすることです。具体的には、厚手生地をお選びいただくこともおすすめですが、同時にカーテンのしっらえ方も気をつけたいポイントがあります。

①窓を大きめに覆う



窓からの冷気の流入を防ぐためには、カーテンで窓を大きめに覆うことが有効です。そのためには、カーテンレールのサイズと取り付け位置が重要です。カーテンレールを取付する場合は、取付場所にゆとりがあるならレール位置は窓枠よりも高めにし、カーテンが窓よりも大きくなるようにします。レールがすでにある場合は、カーテンの丈を長めにすると、下から流れ込む冷気が抑えられます。掃出し窓なら床までの長さです。腰窓の場合、干渉する家具などが無いのであれば丈を長めにすることをおすすめします。

②リターン縫製



カーテンの両端と壁の隙間ができないようにカーテン幅を長めにし、隙間になる横を壁に対して直角に折った『リターン縫製』。寝室では、光漏れ対策にもなります。

③カバートップ



窓からの冷気は、カーテンと窓との隙間から室内に流れてきます。カバートップがあると、上部がしっかり覆えるので上からの冷気を抑えられます。

■リビング階段

暖かい空気は上に、冷たい空気は下に流れます。リビング階段がある場合は階段の開口部から空気の出入りがあるために冷暖房効率が落ちることがあります。サーキュレーターなどで空気を攪はんする方法もありますが、空気の流れをシャットアウトするのであればカーテンやロールスクリーンで間仕切するという方法もあります。



ヴェスタ・ショップ坂戸

〒350-0234 埼玉県坂戸市緑町6-2
Tel.049-280-3338 <http://www.vesta-shop.jp>
Open 10:00a.m.-6:00p.m. 定休日 水曜日



【完全予約制】ヴェスタ・コーディネートルームふじみ野

〒356-0056 埼玉県ふじみ野市うれし野1-3-14
フラワーガーデンビル1階
Tel.049-280-3338 <http://www.vesta-shop.jp>



ご予約はお電話またはWEBサイトのお問い合わせからお願いします